

祝 令和4年 春の叙勲 瑞宝双光章(地方自治功勞)



新しい金ヶ崎を目指し
多くの懸案事項に取り組む

千葉 ^{まさゆき} 政幸 さん (73歳)
西根南町在住

「NPO 法人輝き」理事長。昭和47年に町職員に採用され、その後は岩手県派遣や税務課、財政課、土地開発公社出向、健康福祉課などを経て、平成14年から町収入役、町助役、副町長を歴任。趣味は旅行と毎朝の散歩。妻、次男と3人暮らし。

役場職員となった昭和47年は「これから社会が発展する時代で市町村競争に取り組む世相があった」と振り返る政幸さん。昭和51年に岩手県地方課へ派遣。法律に基づく仕事の重みや地方財政の重要性を認識する転機となった。その後は、県での経験を活かしながら、法令や例規を徹底して勉強。市町村税を把握し、町の懸案であった多額の未収金解消に取り組み、県内トップクラスの収納率を達成。また、町土地開発公社では、岩手中部工業団地の従業員の定住化などを狙いとする「横道住宅団地」の大規模造成に関わり、県住宅供給公社やハウスメーカーなどと交渉を重ね、上下水道や都市ガスなど新しい金ヶ崎への環境整備を行った。平成14年からは三役として行財政改革に取り組み、金ヶ崎病院や温泉など、職員の痛みを伴いながらも懸案事項解消にまい進した。大きな決断に進めたのは、上司から「役職を担ったら、大きな懸案事項に取り組みなさい」との言葉。仕事に臨む心構えとなった。現在はNPO法人の理事長として、高齢者や子どもたちの交流の場を創出。「育ててもらった地域への恩返し。高齢者から『子どもたちの声を聞くのが私たちの生きがい』との声を聞くと胸に響くものがある」と目を細める。受章は「家族の支えがあったからこそ。驚いたが荣誉ある受章なので素直にうれしい」と周りの支えに感謝した。

広報日記



今月は健康ポイントを特集させていただきました。撮影に何度もご協力いただいた皆さんありがとうございました。この頃は暑いと感じる日も増えてきました。つい最近まで肌寒かったのに、あっという間に暖かくなり、毎晩力エルの合唱が聞こえ初夏を感じます。皆さんも田植えやウオーキングの際は水分補給を忘れず行いましょう。(村口)

町公式 LINE で情報発信中

広報の発行やコロナワクチンに関する情報などをLINEでお知らせ!



友達登録はこちらから

人口と世帯

4月30日現在

※()内は前月比

人口	15,274人	(+ 6)
男	7,828人	(+ 3)
女	7,446人	(+ 3)
世帯数	6,222世帯	(+38)